

こころ育てる絵本との出会い

マクちゃん通信

2013 2-3 vol. 18

絵本原画展

すまいるママ

特集 空想絵本



すまいるママ



*すまいるママ*プロフィール

1974年岐阜県生まれ。本名：若原徳広。
女性のようなペンネームですが、実は3児の「パパ」。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒。キャラクターデザイナーを経て、2004年より手芸絵本作家として独立。絵本や保育教材のイラスト、チロルチョコレートなどパッケージのデザイン、男鹿水族館ロゴマークデザイン等を手がける。フェルトや布のはぎれを使った地球にやさしいワークショップを行う。主な絵本作品は『ながれぼしきらり』『はなになりたい』（ヴィレッジブックス）、『サーカスへようこそ』『チクチクさん』『チクチクさんともりのかいぶつ』『チクチクさん トゲトゲさん』（PHP研究所）、『おさんぽさんぽ』（フレーベル館）。東京在住。

『世界中の子どもたちがいちばんだいすきなのは
…ママの笑顔！』（＝*すまいるママ*）
楽しくて、リズムミカルで、子どもたちがワクワク
目がかがやかせる絵本を描きたいですね

絵本原画展開催

平成25年2月2日(土)～平成25年3月28日(木)



『チクチクさんトゲトゲさん』
(PHP研究所)



『はなになりたい』
(ヴィレッジブックス)

原画展示絵本

春のギャラリーでは、愛情と優しさをたっぷり描いた『はなになりたい』、エコをテーマにした『チクチクさん トゲトゲさん』の2冊をご紹介します。

*すまいるママ*先生に インタビュー



絵本作家になられたきっかけは？

小さい頃から、絵を描くのが大好きでした。父が製本の仕事をしていたので、家には自由に使える紙がいくらでもありました。だから、毎日絵を描いたり、工作をして過ごしていました。絵本をつくることもその延長だと思っています。

画材は何を使っていらつしやいますか？

布とフェルト。それにビーズやボタンや毛糸や綿。あと、刺繍をしたり色鉛筆もちよこつと使います。フェルトは色が限られているので、染めることもあります。

今回、絵本原画展を行う絵本の制作秘話
や思い出を教えてください。

『はなになりたい』

例えば、どこかの養鶏場で育てられた鶏のお肉はおいしく食べられます。それが、自分の家で育てた鶏だったら…？考えただけで胸が苦しくなってしまう。同じように、もしもライオンがウサギを育てたらどうでしょう？絵本の中のお話ですが、きっと2人の関係は本当の親子になってしまうでしょう。

この絵本は思いもよらないほど大きな反響を呼び、全国の学校の授業でも取り上げられることになりました。小学校だけではなく、大学の講義でも読まれたそうです。

『チクチクさん トゲトゲさん』

着なくなった服を、また使えるものに仕立ててくれる仕立て屋『チクチクさん』が主人公です。エコなんです！今回は大工の『トゲトゲさん』といつしよに、子どもたちのために風車で動くメリーゴーラウンドをつくります。クリーンエネルギーです！子どもたちと、エネルギーの関係はこうでなくっちゃ！

絵本をお作りになるときのこだわりは？

作話、制作、撮影、装丁、できるだけ一人でやるようにしています。こだわりの言うよりも、人に任せたくない気持ち強いのかも知れません。
丁寧に、じっくりと、ゆっくと！

今後どのような絵本を描いていかれますか？

子どもが3人いますので、何度も「読んで」って言われるような絵本がつくりたいです。楽しくて、リズムカルで、遊びの延長のような絵本ですね。

ご趣味についてお聞かせください。

数年前からガーデニングを楽しんでいます。花の名前や季節などを知らないのと、ためな絵本になってしまいうから。毎年秋にはチューリップの球根を100球植えるんです。春にたくさん花が咲くと思うと、寒い冬もワクワクした気分です。ごめします！

好きな言葉を教えてください。

「よいいなものを もたないって なんじゆうなのかしら」

チクチクさんの絵本の中のセリフです。小さなカバンひとつだけ持って、気球に乗って旅をする…チクチクさんのような生き方に憧れます。

ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

これからも、楽しい絵本をたくさんつくり続けていきたいです。ワークショップも全国でやりたいなあ。もしお会いしたら一緒に楽しみましょう！

*すまいるママ*先生、ありがとうございました！



『チクチクさん トゲトゲさん』
(PHP研究所)

*すまいるママ*先生サイン入りの 絵本を3名様にプレゼント

応募方法 氏名、年齢、住所、電話番号をご明記のうえ、ハガキでご応募ください。
あて先 〒939-0283 射水市鳥取50 射水市大島絵本館
*すまいるママ*サイン本プレゼント係
締め切り 平成25年3月10日 消印有効
※発表は発送をもって代えさせていただきます。

3/16(土) ①11:00~12:00
②14:00~15:00

すまいるママ 絵本ライブ

*すまいるママ*先生と一緒に絵本を楽しもう！サイン会もありますよ。
※入館料のみでお楽しみいただけます。



嶋 明子
射水市大島絵本館 指導員

特集 / 空想絵本

空想絵本 日常から空想の世界へ

「なにをばーっとしてるの」と幼い頃時々母や先生に怒られたことがあります。そんなときは大抵、私は想像の世界へいつている真っ最中。

あるときは、家の窓から遠くの山を見ながら「もし、あの山に宇宙人が来たらどうしよう」とか、夜寝る前の布団の中で「今近くにおばけがいる、いや、いない」と葛藤したり。こんなふうには幼い頃、日常生活の中で見たり感じたことから様々なことを想像するのが大好きでした。

特に絵本は、あつという間に私を空想世界へ連れて行ってくれました。例えば『おきなおきなおきなおいも』（赤羽末吉 作・絵）。幼稚園のいもほり遠足が雨で一週間延期になったときの園児たちの様子が描かれた絵本です。改めて読み返してみると、園児たちの想像する力にはびっくり。どんないもが大きくなって、その大きくなったいもをへりコプターで園まで運び、それから洗ってみんなで食べます。スケールもどんどん大きくなり、最後はおならで宇宙旅行へ。どこまでも想像が広がっていきます。

子どもは「空想」という遊びによって理想と現実の大きな隔たりをひとつのもの

としてまとめる力があります。しかし考えてみれば、おきもの絵本に描かれた園児たちの空想は、作者の赤羽末吉さんが生み出したものです。

ある本に、「子どもたちの空想遊びの世界を描いたすぐれた作家は、現在の立場や持っている知識などを想像力だけで一気に理想とするものに実現させる遊びという行為、そしてそこで発揮される情熱・創意工夫・人間関係の調節能力等が、子どもたちのその後の人生においてどれくらい大切な役割を果たすものかを知っている人でもある」と書かれています。

「空想」という遊びを行うことは、現実から逃げるということとは違います。上手い具合に自分の中で現実と理想を結び付け、もっと人生を楽しく面白いものになるように変えていくための手助けをしていると考えることもできるのではないのでしょうか。私自身、日々の生活に追われ、空想することを忘れがちです。だから、子どもともに絵本を読みながら、空想遊びの楽しさを思い出したい。

限られたもの、限られた時間のなかで、人生を豊かにしていくためには、子どもだけでなく大人にもこの「空想遊び」をお勧めしたいと思います。

私のおすすめ絵本

『どこでもない場所』

セーラ・リットムゾン／文
ロブ・ゴンサルヴス／絵
金原瑞人／訳（はるぶ出版）

1頁1頁の絵が、想像力をかきたてられるような絵本。夢の世界へ連れて行ってくれます。



『かようびのよる』

デヴィット・ウィズナー／作
当麻ゆか／訳（徳間書店）

何度見ても笑えるこの不思議な世界。最後の頁からまた想像が広がります。



『おきなおきなおきなおいも』

赤羽末吉／作
（福音館書店）

いもほりから子どもたちは、どんどんイメージを広げていきます。こんなおいもがあったらいいな。



『いちにちおもちゃ』

ふくべあきひろ／作 かわしまなえ／絵
（PHP研究所）

おもちゃになってみたら
きっとこんな風なのかな？
おもちゃって大変。



『おばけでんしゃ』

内田賢太郎／文 西村繁男／絵
（童心社）

最後に電車を降りていく
人間にばけたおばけたち。
こんなおばけが周りにいるかもしれませんね。



『ヤカンのおかんとフンのおとん』

サトシ／作 赤川明／絵
（佼成出版社）

子どもたちにはもしかして
こんな風にみえるのかしら。日々反省…。



『おかめ列車 嫁にいく』

いぬんこ／作（長崎出版）
古いアルバムをみていたら、
おかめ列車の世界へ！
これは夢？それとも現実？